

新山 勝久 議員



一括質問方式

- ①市民生活の安心安全
- ②市民生活の向上
- ③阿蔵・高山用地
- ④道路問題
- ⑤つかい事業
- ⑥ライフラインの耐震化等
- ⑦バイオマス発電

市民生活の安心安全について

問

近年、多数の事件、事故が発生している。この事件検挙、早期解決につながっているのが、各所に設置した防犯カメラの映像である。市内の至るところに防犯カメラを設

置することにより、認知症の徘徊、行方不明者の捜索、その他犯罪に対する警察への協力、または犯罪に対する抑止力につながるのではないかと考えています。

答

現在、市内には防犯カメラを16台設置しており、今年度新たに市庁舎立体駐車場に1台を設置するところです。また、3月補正予算において、要望のあった市内の高齢者福祉施設4カ所に計13台を設置することとなっています。防犯カメラは、認知症の方の徘徊による捜索活動においても有用な捜索手段の一つになるということも考えられる一方で、個人のプライバシーについての調整

市役所立体駐車場に設置された防犯カメラ



も重要な課題となります。こうしたことから、今後は十分な協議検討の上、関係機関と連携し、必要性の高い箇所については、設置していきたいと考えています。

市民生活の向上について

問

不法投棄によるごみ問題は、その地域では大変な迷惑になっている。道路から近い場合には、道路まで引き上げれば市が取りに来てくれるが、例えば40mとか50mほどの谷合いから引き上げるためにはクレーン車が必要となり、大変な金額が発生する。市民一人一人のごみの選別を徹底することが必要と思われるが、市の考えを伺う。

答

不法投棄については、対応に苦慮しているところです。市では回収しても繰り返し不法投棄される土地については、不法投棄防止看板を設置するなどの対応を行っているところです。また、愛媛県八幡浜支局管内の不法投棄防止対策推進協議会では、不法投棄場所における廃棄物の撤去活動も行っていますので、

御連絡をいただければ撤去について協議会に諮ってみたいと考えています。

ライフラインの耐震化等について

問

住宅建築予定地に水道耐水管の施設がない場合、その水道管を申請者が施工しなければならないことになっているが、この負担軽減について、昨年の6月議会において、県内他市町村の事例を参考に制度改正を検討すると答弁をされた。その後の検討内容についてどのような状況になっているのか。

答

追加配水管施工の負担軽減の検討状況については、昨年8月県内の上水道設置の17市町にアンケート調査を実施しました。それらを参考に検討した結果、本市では自己の生活に供するための専用住宅に給水を受けようとする場合は、個人負担の軽減を図りたいと考えています。個人負担の割合としては、50%程度になると考えています。なお、改正した制度は平成29年度から適用することとしています。